

# 歴

## 史民俗資料館だより

No.29  
文化生涯学習課  
資料館係

### 江戸時代の遺跡・真壁陣屋跡の発掘成果について

真壁中央公民館跡地、歴史民俗資料館跡地(真壁町真壁地内)を中心に行われた真壁陣屋跡の発掘成果についてお知らせします。

出土したのは江戸時代の真壁藩や笠間藩の役所「真壁陣屋」の堀、池、水路などの遺構(施設の跡)です。

事業地の遺構の多くは、広い範囲にわたって明治時代以後の建設工事等で壊されていますが、深く掘られた堀や池は埋められた状態で残っていました。これらは江戸後期の絵図にも描かれています。

出土品の年代は、江戸後期から幕末頃で、笠間藩主・牧野氏の時代です。

江戸時代より古いものでは、古墳や中世の建物跡がありました。特に中世の遺構・遺物は真壁の歴史的町並みが戦国時代の



陣屋跡の堀 (東辺・旧母子健康センター下付近)



発掘調査現地説明会のようす (8月8日)

長辺寺山古墳 (ラスカから)



いつ頃成立したのかを探る貴重な資料になると思います。発掘の成果や資料については、今後も広報や企画展示などで紹介します。

歴史の風景 No.3  
ラスカからみた桜川流域最大の前方後円墳・長辺寺山古墳と岩瀬地区の市街地。それは、今から1600年ほど前、桜川流域の発展を夢見た大王の本拠地であり、「先見の明」を示す景観です。

岩瀬地区市街地 現代の発展のルーツは古墳時代にありました。

### 歴史のことば 9月

「少しのひまあらば、物の本をば文字のある物を懐に入れ、常に人目を忍び見べし」

『早雲寺殿二十一箇条』

「少しでもひまができたならば、ふとこころに収めておいたものの本を取り出し、目立たぬように読むことである。」

7月号で紹介した伊勢(北条)早雲(一四三二〜一五一九)は、戦国時代の関東地方で活躍した武将。息子・氏綱から北条氏を名乗り、神奈川県の小田原城を拠点に関東制覇をめざしました。早雲寺殿二十一箇条は早雲の家訓で、生活態度や仕事の心得などが記されています。

大切な時のために「針ほどのものも蔵に蓄え」と評された早雲。学ぶ姿勢も一生懸命だったようです。のるかそるかのか戦いにあけくれた戦国武将こそ、「学ぶ」ことを大事にしていたようですね。

忙しさの中にも学問ありー。早雲を初代とする小田原北条氏は、やがて桜川市近くまで攻め寄せる大きな家になります。

安心・親切な接客でお客様のご要望にお応えします。

おすすめ  
無料  
サービス

- ・かんたん電話教室
- ・ぴったり料金プラン診断
- ・ケータイてんけんサービス
- ・電話帳バックアップサービス

docomo ドコモショップ下館店

TEL 0120-201-011  
AM 10:00 ~ PM 7:00

年中無休